

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		19310	養育医療費給付事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	庶務企画班
施策体系	基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	母子保健法に基づく低体重児の届出、養育医療の給付等に関する規則	4	1	3	☒ 主な事業	
	施策の展開	16	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	91	養育医療費給付事業			☐ 国土強靱化地域計画	
	施策の展開			戦略事業					☐ 新市建設計画	
									☐ 定住自立圏構想	
									☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		身体が発育が未熟なまま生まれた乳児が、指定医療機関において入院治療が必要と認められた場合に、その治療に必要な医療費の一部を助成する	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
平成25年4月に県からの権限委譲により開始した。		子ども医療費助成事業と関連した助成の仕組みであり、助成対象者が制度を複雑に感じることがある。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		助成対象者からは「自己負担金がわかりづらい」等の意見がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1. 需用費	10. 消耗品費	
2. 役務費	2. 手数料	
3. 扶助費	5,982. 扶助費	
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1. 国庫支出金	1,737. 養育医療費負担金	
2. 都道府県支出金	1,200. 養育医療費負担金	
3. 地方債		
4. その他	1,184. 自己負担金	

事業費	費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	1. 需用費	千円	10	10	10	10	10
	2. 役務費	千円	2	2	1	2	3
	3. 扶助費	千円	4,892	4,814	3,809	5,982	4,909
		千円					
		千円					
財源	事業費計 (A)	千円	4,904	4,826	3,820	5,994	4,922
	1. 国庫支出金	千円	2,482	2,232	1,895	1,737	2,098
	2. 都道府県支出金	千円	983	988	795	1,200	1,049
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	962	861	626	1,184	712
	5. 一般財源	千円	477	745	504	1,873	1,063

前年度増減理由: 対象者増のため

従事職員数: 常時 1 人 最大 2 人 × 12 日 = 延べ 24 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
1年度実績(1年度に行った主な活動)							
申請受付	ア 対象者数	人	16	18	13	21	20
医療券発行							
給付	イ 給付金額	千円	4,892	4,814	3,809	5,982	4,909
自己負担金徴収							

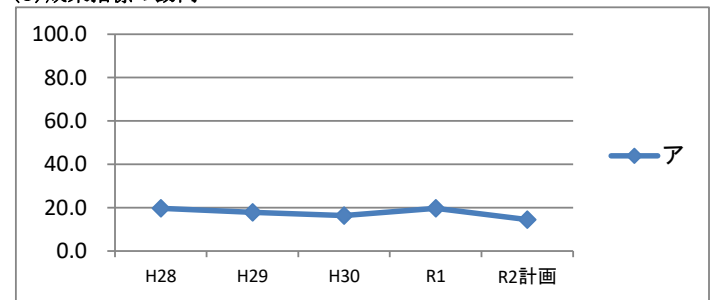
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象意図							
母子保健法第6条第6項に規定する未熟児を持つ保護者	ア 自己負担額軽減率(自己負担総額/給付金額)	%	19.7	17.9	16.4	19.7	14.5
経済的負担を減らす							
対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			⑦
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ ☒ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ ☒ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 今後の方向性 例年通り実施
	比較 27年度 28年度 29年度 30年度 1年度 28年度 29年度 30年度 1年度 2計画 ア 1.6 Δ1.8 Δ1.5 3.3 Δ5.2 イ
	現状維持 ☒ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
	例年通り実施